

1. 基本事項

作成日 令和02年06月23日(火)

施策		自然・文化を生かした景観形成		期間	H. 30 ~ R. 4	施策担当部課名	都市計画課
第2次総合計画 行政分野別策別名	大項目	200005	快適で利便性の高いまち(都市・生活基盤)	施策の概要 (目的や対象)		地域の重要な資源である緑の豊かさを市民が実感し、日常的に触れ合える機会の拡大を目指し、自然や歴史・文化等を生かした特色ある公園や、市民に身近な公園の整備を進めるとともに、自然の森の保全・活用を図る。	
	中項目	200001	都市整備の行き届いたまちづくり				
	小項目	200003	自然・文化を生かした景観形成				
重要度及び満足度の状況	市民意向の把握をするためアンケート調査を行った結果、身近な緑が減少あるいは緑の質が落ちていると感じていることなどより、施策重要度は平均よりやや低く、満足度はほぼ平均値となっている。			施策の推進のための主な取り組み	1. 鐘撞堂山の森林等の公共的な緑地の維持管理		
施策を取り巻く社会状況等	市内全域に屋敷林が点在し、防風林や自然林の存在など多くの緑に恵まれている。 公園については、一部の施設で老朽化が進んでいる。				2. 公園の整備、維持管理 3. 景観事務		

2. 評価指標

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	指標値(上段は目標値・下段は実績値)					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	身近に自然に親しめる環境があると思う市民の割合	%	-	70.84	71.21	71.58	71.95	72.30
	市民まちづくりアンケート		68.30	69.80	72.20	0.00	0.00	0.00
	市内に魅力的なまち並み・景観があると思う市民の割合	%	-	44.10	44.60	45.10	45.60	46.10
	市民まちづくりアンケート		38.70	42.00	47.40	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1:現状維持 2:拡充 3:縮小
<評価コメント>		
<p>自然・文化を生かした景観形成に対する市民満足度は目標値を超えた。 一方、公園施設の維持管理の重要性や「レンガを活かしたまちづくり」のPRの必要性が増している。</p>		
評価者	都市計画課長 吉田 稔	

4. 改善・改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な改善策)

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然を保全するため、鐘撞堂山の森林などの維持管理が必要である。 市内の公園については、市民が親しみやすい整備や、安心安全な施設の維持管理が必要である。 歴史的背景を踏まえた個性あるまちづくりを推進するために、レンガを活かした新たなまちなみ形成のビジョンを明らかにするとともに、市民に対するPRをより推進していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価

<所属長の見解>	
<p>今後も、鐘撞堂山の森林の保全や、市民の憩いの場である公園の安心安全で快適な環境の確保に努めていく。 また、景観の保全に努めるとともに、レンガを活かしたまちづくりを推進し、中心市街地において新たなまちなみの形成を図っていく。</p>	
所属長	都市整備部長 田嶋 英生